

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	しんがくどう福岡東		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 3月 6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントを基に個別支援計画を作成し、個別活動と集団活動を組み合わせながら児童一人ひとりの状況に応じた支援を行っています。保護者アンケートでも支援内容について高い評価が得られています。	パーテーションや個室、クールダウンスペースを設けることで、子どもが安心して活動できる環境づくりを行っています。	地域の関係機関や児童施設との情報交換を行い、地域交流の機会を検討していきます。
2	計画作成アプリの活用や日々のミーティング等を通して職員間で情報共有を行い、子どもの状況や支援方法について共通理解を図りながらチームで支援を実施しています。	ミーティングだけでなく日常の会話の中でも支援状況を共有し、子どもへの対応やリスク管理について職員間で共通理解を図っています。	虐待防止研修や非常時対応研修など、職員の専門性向上につながる研修機会を増やしていきます。
3	日々の連絡、面談、電話等を通して子どもの様子を共有し、保護者からの相談にも柔軟に対応することで、子どもの発達状況や課題について共通理解を持ちながら支援を進めています。	活動内容を選択できる機会を設けるなど、子どもが自ら考えて行動できるような支援を意識して行っています。	保護者会や研修会の開催方法を見直し、参加しやすい形で家族支援の機会を提供していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館など地域の子どもとの交流の機会が十分とは言えず、地域社会との関わりを広げる取り組みが今後の課題となっています。	周辺に児童クラブ等の施設が少ないことから、地域の子どもとの交流機会が限られています。	避難訓練や安全計画について、通信や面談等を通して保護者への情報提供を行います。
2	事故防止マニュアルや避難訓練等は実施しているものの、保護者アンケートでは「知らない」という回答もあり、周知方法の改善が必要と考えられます。	保護者からの意見や外部評価の結果などが、職員全体へ十分に共有されていない場合があります。	保護者の意見や外部評価結果を職員会議などで共有し、業務改善に活かしていきます。
3	保護者会等は実施しているが参加人数が少ないこともあり、保護者同士の交流機会や家族支援の取り組みをより充実させる必要があります。	送迎や児童の利用時間の関係で、職員間の振り返りやミーティングの時間を十分確保できないことがあります。	日々の支援の振り返りを行う時間を意識的に確保し、支援の質の向上につなげていきます。